

令和2年度

事業報告書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

社会福祉法人柏の里めむろ

障害福祉サービス事業所「オークル」

地域活動支援センター「アットホームめむろ」

短期入所事業所「ウェルカムめむろ」

共同生活援助「グループホーム明幸寮」

共同生活援助「ケアホームウェルカムめむろ」

日中一時支援事業所「ウェルカムめむろ」

行動援護事業所「すきっぷ」

日中一時支援事業所「すきっぷ」

令和2年度

事業報告にあたって

令和2年度における当法人の事業活動並びに関係予算の執行については、理事会、評議員会で承認された事業計画に基づき、それぞれの会議等において事前検討を行ったうえで実行に移され、ほぼ計画の通り事業を進めてきた。しかし新型コロナウイルスに関する影響は大きく、当法人も昨年に引き続きその対応に追われた一年だった。感染対策として職員、利用者にマスクの着用、手洗い、消毒等により徹底して感染経路を断つことに努め、職員、利用者各自出勤前と日中の体温測定を行い、発熱等の症状が認められる場合には出勤停止を徹底した。一日数回換気と事業所内の消毒も行った。さらに新型コロナウイルス対策委員会を開き、感染の疑いのある場合の対応や感染者発生時のシュミレーションを行った他、利用者、保護者、職員への注意喚起文書の発行、感染症対策研修への参加を実施した。また補助事業や寄付金などを活用しながら加湿器の増設、食堂や手洗い場、事務室、送迎車内にパーテーションを設置、グループホームにはテーブルを増設するなど備品類の整備を行った他、アルコールやマスクなども購入し備蓄した。年末年始にかけて芽室町内でも感染が拡大していたが、このような状況の中職員、利用者の中に感染者を出すことなく年度を終えることができ、感染対策の一定の成果があったと思われる。

経営的には厳しい年となった。イベントや行事が軒並み中止となり、製品を販売する機会はなくなったことは大きな痛手となった。ショートステイや日中一時支援事業については一回の人数を制限したり、消毒を徹底するほか、寝室について立てを設置するなどしてサービス提供を継続した。その中で行事やサービス提供を中止にするのではなく、利用者を楽しみを持たせながら事業を継続する努力を行った。それでもやはり、このような状況下では心配をされるご家庭もあり、個別に相談を受けながら、一定期間通所やグループホームの利用を休止し、自宅で待機するという選択肢をとっていただく場合もあった。

そうした中、運営全般では「柏の里めむろの理念」のもと、法人制度改革への対応をはじめ、新グループホーム、ショートステイを開設し、令和2年4月より利用を開始することができた。開設から1年が経過し、設備に関する調整などがあったものの、サービスの提供はほぼ順調に行えている。

また、「ガバナンスの強化」「透明性の確保」「財務規律の強化」をより具体的に実践していく取り組みを継続した。「地域の公益的な取り組み」についてはコロナ禍の影響によりほとんどが中止せざるを得ない状況ではあったが、関係各所との連携は持ち続け、時期を見て再開できるよう調整を行っている。

研修事業では、人材育成委員会の企画のもと計画を立てたが、コロナ禍で研修自体の減少もあり例年に比べて実施機会は抑えられている。

また、利用者の会「なかよし会」行事も感染対策のため数回に分けて少人数で行ったが、内容の充実を図りながら実施することができ、旬に応じた行事やスポーツ行事も行われ、利用者同士の親睦を深めた。

そのほか、権利擁護についても、権利擁護委員会を中心として事前の検討等を充分に行いながら実施することができた。

課題も残しているが、当初の計画に向けて令和2年度事業を進めることができたことは、関係各位の協力のたまものである。

I 運営管理の部

1. 1年のあゆみ

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
4・1(水)	オークル	職員辞令交付式	職員
4・1(水)	オークル	通園式	なかよし会
4・1(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
4・1(水)	カムカム	グループホーム開所	利用者5名、職員2名
4・1(水)	オークル	手指消毒用エタノールの優先供給	国(本体4本詰替4本)
4・2(木)	アットホーム	地域活動支援センター事業委託業務契約	芽室町
4・5(日)	アットホーム	保護者会総会	
4・6(月)	CHカムカム	CHカムカム開所おめでとうパーティ	カムカム利用者、職員
4・6(月)	アットホーム	地活事業委託業務の4期分の報告書提出	芽室町
4・6(月)	アットホーム	柏の里めむろ補助事業実績報告書提出	芽室町
4・6(月)	アットホーム	補助金等交付申請書提出	芽室町
4・6(月)	アットホーム	地活事業委託料(第1期分)請求書提出	芽室町
4・6(月)	オークル	利用者工賃支払証明書提出	芽室町
4・9(木)	アットホーム	アットホームめむろ事業報告書提出	芽室町
4・10(水)	オークル	旧ショートステイ施設解体工事見積合せ	柴田理事長他
4・10(水)	オークル	春のEMボカシキャンペーン開始	各店舗
~5・8(金)			
4・13(月)	アットホーム	障害者支援ネット支援事業補助通知受理	芽室町
4・15(水)	オークル	福祉・介護職員等処遇改善加算提出	十勝総合振興局
4・15(水)	アットホーム	令和元年度補助金等の額の確定	芽室町
4・16(木)	芽室町物産協会	芽室町物産専用自動販売機事業覚書	芽室町物産協会
4・16(木)	西土狩地区	ごみ拾い	利用者、職員
4・20(月)	オークル	音楽祭パートI	なかよし会
4・21(火)	オークル	排水溝掃除	日本高圧コンクリート
4・21(火)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営：深澤氏
4・22(水)	保健福祉センター	第1回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
4・28(火)	オークル	マスク50枚寄付	ライオンズクラブ331-A
4・29(水)	オークル	マスク50枚入り25箱	建設協会
4・30(木)	オークル他	現況報告書提出	十勝総合振興局
5・12(火)	アットホーム	支援ネット補助金等概算払申請書提出	芽室町
5・13(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
5・13(水)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営：近藤氏
5・18(月)	あいりす	あいりす環境整備作業委託の請負契約	芽室町
5・19(火)	芽室町役場	色つき指定ごみ袋印刷見積書提出	芽室町
5・19(火)	オークル	内部監査(決算監査)	菊池監事、黒田監事
5・20(水)	保健福祉センター	第2回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
5・22(金)	芽室町役場	色つき指定ごみ袋印刷契約	芽室町
5・25(月)	発達支援センター	発達支援センター草刈清掃委託請書	芽室町
5・26(火)	オークル	第144回理事会	理事、監事
5・29(金)	オークル	牛乳とチーズの寄付	JAめむろ
6・1(月)	オークル	職員採用(1名)	西部絹恵
6・1(月)	CHカムカム	防災安全勉強会(毎月1回開催)	カムカム利用者
6・3(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
6・4(木)	オークル他	消防機器点検	システムオン
6・8(月)	オークル	第1回避難訓練	利用者、職員
6・8(月)	CHウェルカム	第1回避難訓練	利用者、職員

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
6・9(火)	アットホーム	第1回避難訓練	利用者、職員
6・9(火)	すきっぷ	第1回避難訓練	利用者、職員
6・9(火)	ふれあい交流館	第1回芽室町社会福祉協議会理事会	成田(理事)
6・10(水)	オークル	新型コロナに対する応援慰労金	芽室町
6・10(水)	GH 明幸寮	第1回避難訓練	利用者、職員
6・10(水)	GH カムカム	第1回避難訓練	利用者、職員
6・10(水)	SS ウェルカム	第1回避難訓練	利用者、職員
6・10(水)	かしわ保育所	第1回十勝立正福祉事業会理事会	古川(理事)
6・11(木)	リスどん	事業所訪問受け入れ	芽室小学校
6・12(金)	あいりす	環境整備委託作業開始	利用者、職員
6・12(金)	発達支援センター	環境整備委託作業開始	利用者、職員
6・16(火)	オークル	保護者会環境整備	保護者、職員
6・16(火)	アットホーム	保護者会環境整備	保護者、職員
6・16(火)	オークル	第83回評議員会(定時評議員会)	評議員、監事
6・17(水)	法務局	資産の総額の変更登記	業務執行理事：古川
6・17(水)	SS ウェルカム	自立支援基盤整備事業財産処分報告書提出	十勝総合振興局
6・17(水)	SS ウェルカム	スプリングラー整備財産処分報告書提出	十勝総合振興局
6・17(水)	保健福祉センター	第3回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
6・18(木)	SS ウェルカム	基本財産処分承認申請書提出	十勝総合振興局
6・18(木)	SS ウェルカム	旧ショートステイ施設解体工事請負契約	道東ブロック
6・19(金)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営：深澤氏
6・19(金)	旧SS ウェルカム	旧施設解体リサイクル届関係書類提出	芽室町
6・19(金)	旧SS ウェルカム	耐震補助金関係書類提出	芽室町
6・25(木)	旧SS ウェルカム	芽室町住宅耐震改修等補助事業交付決定	芽室町
6・29(月)	オークル	消毒アルコール寄贈	中村薬局
7・1(水)	旧SS ウェルカム	旧ショートステイ施設解体工事開始	道東ブロック
7・1(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
7・2(木)	アットホーム	地活事業の第2四半期委託料請求書提出	芽室町
7・2(木)	アットホーム	地活事業第1期四半期委託業務報告書提出	芽室町
7・3(金)	GH カムカム	グループホーム見学会・茶話会	近隣住民
7・7(火)	オークル	厨房衛生チェック	富士産業
7・10(金)	オークル	令和元年度工賃実績報告提出	十勝総合振興局
7・13(月)	オークル	通報装置交換	システム・オン
7・16(木)	オークル	消防による通報装置検査	芽室消防署
7・16(木)	めむろ一ど	第1回観光協会理事会	成田(理事)
7・17(金)	オークル	焼肉会招待	カムカム利用者、職員
7・20(月)	オークル	なかよし会分散体育祭Ⅰ	りすどん班、継続B班
7・22(水)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営：深澤・国分氏
7・22(水)	保健福祉センター	第4回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
7・27(月)	オークル	なかよし会分散体育祭Ⅱ	印刷班、石鹼班
7・28(火)	CH ウェルカム	屋外散水栓取り付け工事契約	道東ブロック
7・30(木)	保健福祉センター	芽室町総合保健医療福祉協議会障害者部会	古川(部会長)
7・31(金)	オークル	福祉・介護職員処遇改善報告書提出	十勝総合振興局
8・4(火)	アットホーム	センター袋折再開	利用者・ボランティア
8・5(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
8・5(水)	オークル	可燃・不燃のごみ袋についての意見交換	芽室町住民福祉課
8・6(木)	明幸寮	エアコン設置	
8・7(金)	旧SS ウェルカム	旧ショートステイ施設解体工事終了	道東ブロック(株)
8・12(水)	オークル	今後の法人経営について意見交換	芽室町保健福祉課
8・18(火)	オークル	健康診断開始	利用者、職員

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
8・18(火)	オークル	内部監査	菊池監事・黒田監事
8・19(水)	保健福祉センター	第5回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
8・20(木)	オークル	吉岡経営センター会計指導	吉岡経営：国分氏
8・20(木)	オークル	内部研修「虐待防止研修」	職員 講師：近藤氏
8・20(木)	共同墓地	有無縁仏法要	成田(社協理事)
8・21(金)	SS ウェルカム	第145回理事会	理事、監事
8・24(月)	オークル	保育実習受入れ(2名)	帯広大谷短期大学2年
～9・4(金)			
8・24(月)	かしわ保育園	十勝立正福祉事業会第2回理事会	古川(理事)
9・1(火)	オークル	自然災害等避難訓練	利用者、職員
9・1(火)	旧ショートステイ	旧ショートステイ施設跡地舗装工事	青木建設
～30(水)			
9・1(火)	帯広	介護職員初任者研修	職員：辺見
～11.24(火)			
9・2(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
9・7(月)	オークル	現場実習受入(1名)	札幌視覚支援学校重複障害学級2年
～18(金)			
9・7(月)	アットホーム	自然災害等避難訓練	利用者、職員
9・8(火)	芽室町役場	地活とごみ袋の委託費増額要望書提出	
9・11(金)	ふれあい交流館	社会福祉協議会理事会	成田(理事)
9・15(火)	リスどん他	分散オークル祭り	利用者、職員
～18(金)			
9・19(土)	オークル	ボランティア草刈作業	保護者6名
9・23(水)	保健福祉センター	第6回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
9・28(月)	オークル	現場実習受入(1名)	帯広養護学校
～10・9(金)			
10・1(月)	アットホーム	第2回避難訓練	利用者、職員
10・1(月)	GHカムカム	第2回避難訓練	利用者、職員
10・1(月)	SS ウェルカム	第2回避難訓練	利用者、職員
10・6(火)	オークル	第2回避難訓練	利用者、職員
10・7(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
10・7(水)	すきっぷ	第2回避難訓練	利用者、職員
10・7(水)	GH 明幸寮	第2回避難訓練	利用者、職員
10・7(水)	CH ウェルカム	第2回避難訓練	利用者、職員
10・8(木)	帯広市	第1回地域就労支援連絡会議ハイブリット研修	課長：岡
10・8(木)	芽室町内	赤い羽根共同募金企業周り	成田(理事)
10・10(土)	帯広ヨーカドー	農福マルシェ	利用者1、職員1
～11(日)			
10・16(金)	アットホーム	事業所説明受入れ(10名)	芽室高校生
10・18(日)	芽室町	クリーンアクションめむろ	利用者6、職員2
10・19(月)	オークル	保育実習受入れ(2名)	帯広大谷短期大学2年
～30(金)			
10・19(月)	くりりん	なかよし会社会見学	利用者、職員
10・20(火)	オークル	ウィズコロナ時代における採用戦略研修	係長：横山
10・21(水)	保健福祉センター	第7回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
10・22(木)	オークル	手打ち蕎麦給食	ライオンズクラブ14名
10・22(木)	オークル	吉岡経営センター会計指導	吉岡経営：国分氏
10・22(木)	GHカムカム	消防署立ち入り検査	
10・22(木)	CH ウェルカム	消防署立ち入り検査	
10・22(木)	アットホーム	事業所説明受入れ(9名)	白樺学園高校生

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
10・22(木)	保健福祉センター	芽室町総合医療保健福祉協議会第2回障害者部会	古川(部会長)
10・28(水)	めむろ一ど	第2回観光物産協会理事会	成田(理事)
11・2(月)	西土狩福祉館	袋折(18名)	西土狩友愛会
11・5(木)	幕別町	北海道サービス管理責任者更新研修	課長：岡
11・5(月)	オークル	インフルエンザ予防接種	利用者、職員
11・5(月)	オークル	現場体験実習受入(1名)	上美生中学2年生
11・6(金)	ふれあい交流館	袋折(22名)	老連女性部
11・6(金)	オークル	内部監査	菊池監事、黒田監事
11・9(月)	オークル	秋のスポーツ祭りⅠ	A班、印刷班、職員
11・9(月)	オークル	役場就労支援業務委託打合せ	町：矢野係長、赤坂主任
11・9(月)	オークル	相談支援機能強化事業委託打合せ	町：矢野係長、赤坂主任
11・10(火)	オンライン	利用者・職員の満足度を高める中間経営計画の策定法研修	管理者：成田
11・11(水)	オンライン	健全経営に向けた適正人件費の算出法研修	係長：横山
11・11(水)	SS ウェルカム	第146回理事会	理事、監事
11・12(木)	芽室町	令和3年度(仮)役場就労支援業務委託見積書提出	芽室町
11・12(木)	帯広市	心身障害児者作品展即売会担当者研修会	管理者：成田
11・12(木)	オークル	芽室町発達支援センター草刈清掃委託業務完了検査調書等受理	芽室町
11・16(月)	オークル	不燃・可燃ごみ打合せ	町：藤野課長、斎藤主任
11・16(月)	オークル	秋のスポーツ祭りⅡ	B班、りすどん班、職員
11・17(火)	芽室町	令和3年度(仮)相談支援機能強化委託業務見積書提出	芽室町
11・17(火)	アットホーム	袋折(コロナ禍のためしばらく中止)	
11・18(水)	保健福祉センター	第8回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
11・19(木)	かつこう	袋折(20名)	美生老人クラブ
11・19(木)	オークル	給与制度改定キックオフミーティング	吉岡：近藤氏、国分氏
11・21(土)	オークル	コロナ対策委員会	幹部職員
11・25(水)	オークル	もち米寄贈	YMCA
11・26(木)	GH カムカム	見学受入れ(7名)	こぶしの花
11・26(木)	弥生福祉館	袋折(7名)	こぶしの花
12・2(水)	栄福祉館	袋折(11名)	栄長寿会
12・2(水)	オークル	はまだ内科往診	利用者
12・8(火)	十勝総合振興局	グループホームカムカム変更届提出	十勝総合振興局
12・10(木)	全事業所	消防用設備等点検実施	システムオン
12・10(木)	芽室町	芽室町自立支援協議会第1回全体会議(書面会議)	古川(委員長)
12・14(月)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会第3回理事会	古川(事業会理事)
12・17(木)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡：国分氏
12・17(木)	オークル	第2回同一労働同一賃金対応給与改定ミーティング	吉岡：国分氏
12・17(木)	芽室町	第3回芽室町総合医療保健福祉協議会障がい者部会(書面開催)	古川(部会長)
12・17(木)	オンライン	感染症対策力向上支援業務研修会	課長：岡
12・18(金)	SSウェルカム、GHカムカム	固定資産税に係る家屋評価	芽室町税務課2名
12・18(金)	GHカムカム	クリスマス会	カムカム利用者
12・22(火)	CH ウェルカム	クリスマス会	ウェルカム利用者
12・23(水)	保健福祉センター	第9回西十勝障害支援区分認定審査会中止	古川(委員長)
12・25(金)	芽室町	固定資産申告書提出	芽室町税務課資産税係
12・25(金)	芽室町	固定資産税の非課税規定適用申請書提出	芽室町税務課資産税係
12・28(月)	オークル	仕事納め	なかよし会
1・4(月)	オークル	仕事始め	なかよし会
1・5(火)	帯広	三六協定提出	労働基準局
1・5(火)	芽室町	地活事業第4四半期委託料請求書提出	芽室町保健福祉課
1・5(火)	芽室町	地活事業第3四半期委託業務実施報告書提出	芽室町保健福祉課
1・6(木)	オークル	はまだ内科往診	利用者

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
1・6(木)	帯広	看護師等業務従事者届提出	十勝振興局
1・8(金)	オークル	内部監査	菊池監事、黒田監事
1・9(土)	芽室町	氷灯夜アイスキャンドルづくり開始	利用者、職員
1・14(木)	CH ウェルカム	第 147 回理事会	理事、監事
1・20(水)	芽室町	第 9 回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
1・21(木)	オークル	第 3 回同一労働同一賃金対応給与改定ミーティング	吉岡：国分氏
1・26(火)	オンライン	令和 2 年度権利擁護セミナー	主任：館盛
1・27(水)	オークル他	消火器等一部入れ替え	システムオン
1・28(火)	弥生福祉館	袋折 (7 名)	こぶしの花
2・4(木)	オンライン	道東知的障がい福祉協会全道施設長研修会	管理者：成田
2・5(金)	芽室町役場	一般相談支援機能強化委託見積書提出	執行理事：古川
2・8(月)	芽室町役場	一般相談支援機能強化委託請負契約	
2・12(金)	オークル	社会貢献活動受入れ(グラウンド除雪)	西江建設株式会社
2・19(水)	芽室町役場	第 10 回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
2・18(木)	オークル	健康診断	利用者、職員
2・18(木)	オークル	第 4 回同一労働同一賃金対応給与改定ミーティング	吉岡経営：国分氏
2・24(水)	オークル	内部監査	菊池監事、黒田監事
2・24(水)	中央公民館	第 2 回芽室町総合保健医療福祉協議会	古川(委員)
2・25(木)	オークル	実地指導(グループホーム明幸寮他 3 か所)	十勝総合振興局
3・1(月)	オークル	なかよし会役員選挙	なかよし会
3・1(月)	十勝総合振興局	相談支援事業所の新規申請所等提出	執行理事：古川
3・1(月)	芽室町役場	一般相談支援機能強化委託業務完了届提出	執行理事：古川
3・1(月)	SS ウェルカム	第 148 理事会	理事、監事
3・4(木)	オークル	職員採用(2 名)	本多宏紀、宇佐美弥生
3・4(木)	オークル	氷灯夜「願いの泉」寄付金受入れ	観光物産協会
3・5(金)	芽室町役場	相談事業所新規申請等提出	執行理事：古川
3・8(月)	オークル	第 84 回評議員会	評議員、監事
3・9(火)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会第 4 回理事会	古川(事業会理事)
3・10(水)	十勝総合振興局	定款変更申請書提出	執行理事：古川
3・11(木)	(書面開催)	芽室町自立支援協議会「第 2 回」全体会議	古川(委員長)
3・15(月)	オークル	ご苦労さん会	なかよし会
3・15(月)	法務局	相談支援事業所開設事業変更登記申請	執行理事：古川
3・16(火)	ふれあい交流館	社会福祉協議会第 4 回評議員会	成田(理事)
3・17(水)	オークル	ハートフルプロジェクト寄付金受入れ	執行理事：古川
3・17(水)	芽室町役場	第 11 回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
3・19(金)	芽室町役場	地域活動支援センター業務委託見積書提出	執行理事：古川
3・19(金)	芽室町役場	一般相談支援機能強化事業委託見積書提出	執行理事：古川
3・19(金)	(書面開催)	第 1 回芽室町総合保健医療福祉協議会地域福祉部会部会	古川(委員)
3・26(金)	オークル	第 5 回同一労働同一賃金対応給与改定ミーティング	吉岡経営：国分氏
3・30(火)	芽室町役場	地域活動支援センター業務委託契約	
3・30(火)	芽室町役場	一般相談支援機能強化事業委託契約	
3・30(火)	芽室町役場	行政財産使用許可申請書類提出	執行理事：古川
3・31(水)	オークル	修了式	なかよし会

2. 職員の配置現員状況 (令和3年3月31日現在)

法人	統括管理者	1名	古川誠
オークル	管理者	1名	成田一也
	サビ菅	2名	岡秀隆、藤田暁
	職業指導員	2名	吉村敏弘、館盛隼人
	目標指導員	2名	大崎史果、本多宏紀
	生活支援員	8名	小笠原淑子、嶋中宏之、藤田野歩恵、長谷川友美、橋本由美(兼)、辺見健三、西部絹恵、竹内直美
	事務員	2名	横山和之、木下亜紀
	栄養士	1名	遠藤舞
	看護師	2名	多胡恵美子、前塚ひさ子
	医師(嘱託)	(1名)	濱田栄一
アットホームめむろ	支援員	4名	丹羽佐智子、木村裕子、中村幸子(兼)、宇佐美弥生
グループホーム明幸寮	世話人	2名	村山恵子、明瀬幸子(代替)
すきっぷ	管理者	1名	佐藤環
	支援員	5名	佐々木由美、荒井美幸、橋本由美(兼) 中森多美子、山田桂子
ケ) ウェルカムめむろ	世話人	1名	竹入みか
	支援員	1名	田中邦彦
グループホームカムカム	世話人	1名	岩山優子
	支援員	1名	長谷川友美(兼)、多胡恵美子(兼)、中村幸子(兼)、田口敏江
計		37名	

※合計に嘱託医師は含んでいません。

[常勤職員 23名(うち正規職員 16名) 非常勤職員 14名]

3. 会議の状況

	会議等	構成員	実施回数
会議	職員会議	オークル職員	8回
	サービス調整会議	支援課全職員	12回
	業務改善検討会議	成田、岡、藤田(暁)、丹羽、佐藤(環)	10回
	給食会議	遠藤、成田、長谷川、業者、利用者代表	12回

4. 委員会の状況

	委員会等	構成員	実施回数
委員会	コスト検討委員会	横山、岡	8回
	安全衛生委員会	藤田(久)、前塚、多胡、佐藤(環)、岡	2回
	防災・安全環境委員会	横山、佐藤(環)、藤田(暁)、嶋中、館盛	3回
	苦情改善委員会	長谷川、大崎、藤田(暁)	11回
	利用者懇談委員会		
	業務基準推進・人材育成委員会	藤田(暁)、佐藤(環)、嶋中、成田	4回
	渉外・広報委員会	小笠原、成田、館盛、藤田(野)	12回
	目標工賃達成委員会	大崎、丹羽、藤田(久)	2回
	新型コロナウイルス対策委員会	成田、岡、藤田暁、横山、丹羽、佐藤	2回

5. 職員研修実施状況

外部研修実績

	研 修 名	実施日	場 所	参加者	主 催
1	介護職員初任者研修	9.1～11.24	帯広	辺見	NPO 法人帯広高齢者支援協会
2	第1回地域就労支援連絡会議ハイブリット研修	10.8	帯広	岡	就労・生活支援センターだいち
3	ウィズコロナ時代における採用戦略研修	10.20	オンライン	横山	北海道商工会議所
4	北海道サービス管理責任者更新研修	11.5	幕別	岡	北海道セーフティネット協議会
5	満足度を高める中間経営計画の策定法	11.10	オンライン	成田	吉岡経営センター
6	健全経営に向けた適正人件費の算出法	11.11	オンライン	横山	吉岡経営センター
7	心身障害児者作品展示即売会担当者研修会	11.12	帯広	成田	心身障害児者作品展示即売会実行委員会
8	障害支援施設及び障害福祉サービス事業所等における感染症対策力向上支援業務研修会(WEB研修会)	12.17	オンライン	岡	北海道
9	権利擁護セミナー	1.26	オンライン	舘盛	北海道知的障害福祉協会
10	全道施設長研修会	2.4	オンライン	成田	北海道知的障害福祉協会
11	処遇改善加算の改定と取得のポイント	2.12	オンライン	成田	吉岡経営センター
12	障害者虐待防止・権利擁護研修	2.26	オンライン		北海道

内部研修

研 修 名	実施日	趣旨・内容
研修 I	8月20日	虐待防止研修

6. 役員研修実施状況 令和2年度はコロナ禍を考慮し、参加なし

7. 体験通所受入状況

期 日	所 属	人 数
9月28日(月)～10月9日(金)	帯広養護学校高等部3年	1名

職場実習

期 日	体験通所者	人 数
9月7日(月)～9月18日(金)	札幌視覚支援学校重複障害学級2年	1名
11月5日(月)	上美生中学校2年生徒	1名

8. 現場実習受け入れ

保育実習

期 日	所 属	人 数
8月24日(月)～9月4日(金)	帯広大谷短期大学	2名
10月19日(月)～10月30日(金)	帯広大谷短期大学	2名

9. 主な見学者 令和2年度はコロナ禍を考慮し、受入れせず

月 日	見学場所	見学者・来訪者	人 数
11月26日(木)	グループホームカムカム	こぶしの花	7名

10. 令和2年度ボランティア状況

	ボランティア参加人数	ボランティア参加時間
4月	6名	24時間
5月	3名	7時間
6月	9名	18時間
7月	41名	45時間
8月	67名	121時間
9月	40名	59時間
10月	50名	93時間
11月	62名	74時間
12月	23名	27時間
1月	20名	51時間
2月	17名	34時間
3月	4名	8時間
合計	342名	561時間

参考：昨年1,391名、2,699.5時間

11. 日中一時支援事業利用人数（ウェルカムめむろ）

	利用者数(人)	延べ利用人数		利用者数(人)	延べ利用人数
4月	9	79	10月	19	95
5月	11	85	11月	19	91
6月	12	89	12月	16	97
7月	17	93	1月	16	110
8月	18	91	2月	17	102
9月	23	96	3月	10	104
利用者数合計 187人		延べ利用人数合計 1,132人			

参考：昨年延べ利用人数合計 1,146人

12. 短期入所事業利用人数（ウェルカムめむろ）

	利用者数(人)	利用日数(日)		利用者数(人)	利用日数(日)
4月	6	12	10月	14	54
5月	8	20	11月	11	44
6月	12	34	12月	14	36
7月	12	52	1月	12	28
8月	12	46	2月	13	38
9月	13	50	3月	12	36
月利用者数合計 139人		延べ利用日数合計 450日			

参考：昨年延べ利用日数合計 728日

13. 日中一時支援事業利用人数（すきっぷ）

	日中		外出		送迎		食事		入浴	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
4月	15	155	12	204	15	266	11	44	0	0
5月	11	150	11	256	11	215	8	28	0	0
6月	18	235	12	124	18	419	10	27	0	0
7月	18	241	13	146	18	430	10	32	0	0
8月	19	220	14	200	19	384	9	37	0	0
9月	19	234	12	130	19	417	10	26	0	0
10月	19	265	13	140	19	437	9	37	0	0
11月	19	225	12	118	19	405	10	30	0	0
12月	19	232	11	112	19	414	10	30	0	0
1月	19	215	14	170	19	372	10	37	0	0
2月	19	243	14	128	19	438	12	29	0	0
3月	19	256	16	202	19	445	14	45	0	0
合計	214	2,671	154	1,930	214	4,642	123	402	0	0

参考：昨年延べ利用実績数合計 2,296 人

14. 共同生活援助利用人数（グループホーム明幸寮）

	利用者数(人)	延べ利用者数		利用者数(人)	延べ利用者数
4月	5	150	10月	5	155
5月	5	155	11月	5	150
6月	5	150	12月	5	155
7月	5	155	1月	5	155
8月	5	155	2月	5	140
9月	5	150	3月	5	155
延べ利用者数合計 1,825 人					

参考：昨年延べ利用実績数合計 1,830 人

15. 共同生活援助利用人数（ケアホームウェルカムめむろ）

	利用者数(人)	延べ利用者数		利用者数(人)	延べ利用者数
4月	5	138	10月	5	155
5月	5	133	11月	5	122
6月	5	149	12月	5	109
7月	5	156	1月	5	132
8月	5	138	2月	5	140
9月	5	139	3月	5	148
延べ利用者数合計 1,659 人					

参考：昨年延べ利用実績数合計 1,578 人

16. 共同生活援助利用人数（グループホームカムカム）

	利用者数(人)	延べ利用者数		利用者数(人)	延べ利用者数
4月	5	126	10月	5	155
5月	5	137	11月	5	141
6月	5	128	12月	5	140
7月	5	152	1月	5	140
8月	5	139	2月	5	140
9月	5	138	3月	5	144
延べ利用者数合計 1,680 人					

17. 地域貢献活動

1. 芽室町介護予防ポイント推進事業協力
2. 芽室町自立支援協議会委員長派遣協力
3. 芽室町保健医療福祉協議会委員派遣協力
4. 芽室町社会福祉協議会理事派遣協力
5. 十勝立正福祉社事業会理事派遣協力
6. 芽室町観光物産協会理事派遣協力
7. 芽室町障害支援ネットワーク主管
8. 西十勝障害支援区分認定審査会委員派遣協力
9. 芽室町町民清掃活動クリーンアップめむろ参加
10. 西土狩地区ごみ拾い協力
11. 芽室町西土狩友愛会袋折交流
12. 老人クラブ連合会女性部袋折交流
13. 芽室町町内会大和クラブ袋折交流
14. 芽室町弥生中央町内会こぶしの花袋折交流
15. 芽室小学校事業所訪問受け入れ
16. 有無縁仏供養法要参加
17. 芽室町立芽室小学校巡視意見交流
18. 帯広養護学校実習受け入れ
19. 民生委員児童委員協議会低所得者部会袋折交流会
20. 芽室町美生老人クラブ袋折交流
21. 芽室町栄長寿会袋折交流
22. 大谷短期大学保育実習受け入れ
23. 札幌視覚支援学校現場実習受け入れ
24. 芽室高校事業所説明受け入れ
25. 白樺学園高校事業所説明受け入れ
26. 芽室町氷灯夜アイスクャンドルづくり協力

18. 地域における公益的な取組み

地域社会に貢献する取組として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者を支援するため、地域活動支援センター利用者の利用料を無料とし、福祉サービスを積極的に提供した。また、町内会等地域の会議開催、研修等に開放した。

II 利用者支援の部

1. 在籍人数状況

令和3年3月31日現在

オークル		アットホームめむろ		合 計
男子	女子	男子	女子	
25名	11名	6名	5名	47名
36名		11名		

2. 入所経路別状況

令和3年3月31日現在

経路	オークル		アットホームめむろ		合計
	男子	女子	男子	女子	
アットホームめむろ	16名	7名			23名
オークル			2名	2名	4名
家庭	0名	0名	2名	2名	4名
他施設	3名	2名	2名	0名	7名
高等養護学校	6名	2名	0名	1名	9名
合 計	25名	11名	6名	5名	47名

3. 月別入退所状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日

	オークル			アットホームめむろ		
	初日在籍数	入所者	退所者	初日在籍数	入所者	退所者
令和2年4月	36名	1名		10名	1名	
令和2年5月	36名			11名		
令和2年6月	36名			11名		
令和2年7月	36名			12名	1名	1名
令和2年8月	37名	1名		11名		
令和2年9月	37名			11名		
令和2年10月	37名			11名		
令和2年11月	37名			11名		
令和2年12月	37名			11名		
令和3年1月	37名			11名		
令和3年2月	37名		1名	11名		
令和3年3月	36名		1名	11名		

4. 年齢別構成状況

令和3年3月31日現在

	オークル		アットホームめむろ		合計
	男子	女子	男子	女子	
18歳～19歳	1名	0名	0名	0名	1名
20歳～29歳	4名	2名	1名	1名	8名
30歳～39歳	8名	4名	1名	2名	15名
40歳～49歳	8名	3名	0名	1名	12名
50歳～59歳	2名	1名	2名	1名	6名
60歳以上	2名	1名	2名	0名	5名
計	25名	11名	6名	5名	47名
最高年齢	72歳	69歳	70歳	57歳	72歳
最低年齢	19歳	24歳	26歳	21歳	19歳
平均年齢	38.9歳	36.8歳	50.6歳	39.2歳	39.9歳
	38.3歳		45.4歳		

5. 実施機関別受入状況

令和3年3月31日現在

	オークル		アットホームめむろ		合計
	男子	女子	男子	女子	
芽室町	21名	10名	6名	5名	42名
帯広市	4名	1名	0名	0名	5名
計	25名	11名	6名	5名	47名

6. 令和2年度 行事实施状況

	施設企画行事(なかよし会共催行事)
4月	通所式(1日) なかよし会総会(6日) 音楽観賞会(20日)
5月	
6月	パークゴルフ(中止) 民生委員さんとの交流会(中止)
7月	体育祭(20・21日)
8月	ふれあい交流祭り(中止)
9月	オークル祭り(15～18日)
10月	社会見学(19日)
11月	スポーツ祭り(9・16日)
12月	餅つき(中止) クリスマス会(21日) 仕事納め(28日)
1月	仕事始め(4日)
2月	節分(2日) ふれあい雪中運動会(中止)
3月	なかよし会役員選挙(1日) ごくろうさん会(16日) 修了式(31日)

7. 授産活動状況

令和2年度売り上げ状況

	生産科目	令和2年度	令和元年度
生活介護	せっけん	681,671	741,335
	その他	60,160	95,100
	椎茸	849,659	665,513
	ぼかし	1,775,094	1,085,919
	蝋燭	363,620	491,450
就労継続 B	ごみ袋印刷	12,229,365	13,832,489
	ごみ袋配送	2,225,343	2,070,272
	パン	7,625,956	9,876,021
	その他	436,378	526,948
	シルク印刷	1,109,890	1,136,430
就労支援事業活動による収入計		27,357,136	30,521,477
アットホーム	パウンドケーキ・クッキー	1,430,178	3,535,744
	その他	2,094,582	525,626
授産事業活動による収入計		3,524,760	4,061,370
合計		30,881,896	34,582,847

アットホーム～令和元年度まではドーナツ、サンドイッチ、シュトーレンの売り上げを「パウンドケーキ、クッキー」に含めていたが、令和2年度から「その他」の方に含めている。

[1] リサイクル石けん

利用者が行う石けん作業としてはできあがった固形石けんの削り、磨き、袋詰め、ラベル作り、値札貼り、廃油処理（排出、油こし、ペール缶拭き）や機械を使用した粉碎作業等の一連の工程を行っている。個々の能力や適性に合わせながら取り組んでいる。製造、計量、製品の最終チェックや技術を伴う固形石けん平行削りは職員が行っている。他、洗濯物干し、作業場の清掃、ごみの排出も行っている。また他班と協力して行う椎茸作業、コーン洗浄、ろうそく作り、アイスクャンドル作りも季節に応じて取り組んでいる。単発ではあるが役場体験実習や農福連携の農作業体験等も作業意欲向上に繋がっている。毎週火曜日に行っていた支援センターのごみ袋折りは新型コロナウイルス対策のため休止している。そのため通所日の土曜日に食堂を利用して全員で袋折りを3月末まで実施している。

昨年度にも増し利用者の高齢化、重度化に伴い支援の個別対応の割合が増え、更に医療面のケア等も必要な状況がある。具体的にはトイレ、着替え、食事等の日常的な生活介護（介助）が作業の時間の中にも組み込まれ多様化しているのが現状である。一方では、作業に関して一人ひとりの作業が単調かつ既存の作業内容になりがちなため本来ならば一部の利用者に対しては技術向上を図る機会を設けながら改善していく必要があるが難しい検討課題となっている。

収入面として製品（粉、固形石けん）を中心に「安心・安全」な石けん作りに取り組み製造販売をしている。価格は固形石けん(150g)110円、粉石けん(1kg)330円、(10kg)3,300円、ハネ固形粉碎石けん(10kg)1,650円となっている。委託販売店の増減はない。ハネ固形粉碎石けんの取引先はマナベ機工、日本海及び事業所内消費に充てているが新規の販売先の開拓が必要かと思われる。

廃油回収も宣伝の力を借り積極的に行っている。余剰の廃油については引き続き（有）十勝リサイクル（資源油脂回収事業）に買い取ってもらい、コンスタントに排出して処理している。月2回程度の回収で一回につき600L（ドラム缶3缶分）（1L@15円）月約¥12,000程度で一定の収益を上げることができている。今年は幅広く宣伝した事もあり、ある程度の収益が見込めた。（12月末現在120,380円）石けん総売り上げでは、減少傾向が続いているため貴重な財源となっている。他に少額ではあるがスニーカー洗いの収入がある。

製造面については、職員3名体制の中、1名が製造に携わり随時時間のある時に引継ぎを行っている。夏の時期の粉石けんの製造は製造場所のプレハブ小屋の室温が急激に上昇すること、また作業中の利用者に健康被害を及ぼすことが予想されるため極力猛暑の期間は製造を避け、出来る限り気温、湿度に応じた製造を行うように配慮している。固形石けんは概ね売り上げの多い上半期に集

中して製造し常時、乾燥棚を活用し保管している。石けんの乾燥状態をよくするためのトレイ・クリアーケース・乾燥棚は常に衛生を保ちながら使用部屋の窓の開閉も行っている。

資材、機材は石けん室のほか、プレハブ小屋（石けん製造・粉碎・油こし）旧西士狩小学校校舎内（固形石けん乾燥・薬剤保管）教員住宅（粉石けん乾燥）を利用して管理している。薬剤（苛性ソーダ・ソーダ灰）は在庫確認をし施錠して保管している。製造に必要な粉石けん製造機（釜）、粉碎機、シーラー等の機械の操作には十分留意し、日頃から衛生を保っている。冬期間は乾燥する時期であり石けん室に加湿器を設置し固形石けんの乾燥（ひび割れ）を防ぐように配慮している。また、プレハブ小屋にストーブを設置し暖房を確保している。粉石けん製造時間4h、その後粉碎、乾燥させ1か月程度寝かせ（pH調整）販売している。固形石けんも同様。

販売面は注文に対して在庫の欠品もなく安定した販売が出来ているが常に先々の見通しを立てて在庫切れのないようにしている。ハネ固形粉碎石けんの需要も引き続き販売している。

特に大口の取引先である愛菜屋の販売は、毎年売上額が大きい。昨年度から販売スペースの縮小を余儀なくされても売り上げ自体に影響はなかった。

また、地方発送の顧客や以前からの根強い愛好者の定期的な注文にも助けられている。今年度も新たな委託販売店の開拓には至らなかった。更に新型コロナウイルスの影響も随所に現れていた。

宣伝広告面について、今年度は「石けん講習会」等のイベントを開催することはできなかった。

広報誌「柏の里だより」に石けんの情報（廃油回収・スニーカー洗い・石けんミニ情報）を掲載することで購買意欲の向上を図っている。粉石けん外装袋や固形石けんラベルに成分、使用上の注意、製造元等の詳細が記載され製品の周知をすることができている。

支出面（仕入れ、業務改善、コスト低減など）について、昨年度、長期的な計画の上で材料等の購入をしたため今年度は支出の見直しも含め必要最低限の支出にとどめている。主に作業に必要な消耗品（袋・マスク・ゴム手袋・テープ等）の購入に充てている。また修繕費として、粉石けん釜のガスコンロに根詰まりが生じていたため、ガス漏れの危険性があり早急に部品の交換や修繕を行っている。併せて業者にアドバイスをもらい配管工事も行った。

日常的に必要な水道、ガス、灯油、電気等の高熱水費のコスト削減にも努めている。機械のメンテナンスやガス器具の点検や灯油ストーブの分解掃除等も随時確認を行う必須項目である。

その他、毎年行われている北海道リサイクルせっけん協会のセミナーには都合により参加していないが今年も同様に参加できずにいる。石けん製造を中止してしまう施設もあり、年々会員数の減少傾向にあるが、今後もネットワークを切らすことなく活用し作業技術の向上と情報収集にあたっていきたい。

作業に使用する場所は定期的に掃除や不用品の排出を行い整理整頓及び衛生に心がけ作業に支障のあるものを身近に置かないように配慮している。

作業で出た不必要なゴミは随時、指定の場所に片付けている。オークル周辺の環境整備も行っている。（除草・除雪等）

〔2〕 椎茸栽培

夏の収量が例年より少なかったが、今年度初めて導入した椎茸菌「A-511」の収穫量がとびぬけて多く、例年の売り上げ並みとなっている。

収入面（商品開発、価格設定、販路拡大など）について、椎茸は1g＝1円で販売している。規格外品は半額で販売。なめこ生産に試験的に取り組み、グラウンド西側窪みにて管理した。結果として大きな発生にはつながらなかった。ホダ木の様子を確認する必要がある。乾燥椎茸の試作も行っている。真空パック機の導入、ラベル作成済。真空専用袋とシリカゲルはアートパック業者での購入を考え見積もりを含めて依頼をしている。今後40g600円で販売予定。帯広にある飲食店よりオークル産の原木椎茸を定期購入したいとの申し出があり、椎茸収穫終了時まで販売している。月に2回程度、1回2kg程購入。次年度も購入したいとのことであった。

製造面（産効率、生産量、資材機材管理）については、各ホダ木の浸水・棚入れ・棚出し日を記載する管理表は継続的に使用しているが、記入漏れがあり徹底した管理ができなかった。夏場は温度も高く、発生速度が早いため収穫をこまめに行っている。椎茸が効率よく発生するように、年数の若い元気なホダ木は寒い時期と、暑い時期に、比較的年数を重ねたホダ木は気候の緩やかな春秋の収穫に充てている。椎茸の発生につながる様に休ませ場への散水管理をしている。浸水の4日程前には散水を止め、乾燥と水分確保のメリハリをつけている。今年度仕入れた菌種（A-511）

は、比較的管理が容易とされている。大きさは中くらい。短期間で大量に発生するという特徴がある。実際に10月に爆発的に発生した。現在、主に使用しているホダ木は、H27年度(A-910)約1000本、H28年度(5K-16)約1000本、H29年度(5k-16)約2,000本、H30年度(A-950, A-560)2,000本、令和元年度(5k-16, A-511)約2,000本となる。H27年度分については、寿命のために発生効率が悪く路地で管理に切り替えている。

販売面では、収穫した椎茸は主に愛菜屋で販売した。(330g=310円) イベント販売やパン販売、袋折りボランティア実施時に椎茸販売もあわせてを行い、好評であった。

PRは愛菜屋納品時、袋折り、外販時に宣伝を行った。

管理はホダ木に「菌の名前」「植菌年度」札を表示して管理している。主な支出としては、原木、ドリル刃、コマ菌、ナイロン等を購入した。

その他に1号ハウス管理については、ハウス内の北を発生場、南を休み場として活用している。ビニールハウスの降雪対策としてハウス内に支柱を立て、外側のダイオシートを外しハウス東西側面固定紐縛り直し、北側面ビニールシートの穴補修などを行った。2号ハウスについては、ホダ木休ませ場として活用している。こちらも降雪対策として冬期間はハウスナイロン外している。休日のハウス管理、椎茸の収穫を職員で交代で実施した。

課題としては、試作を行った乾燥椎茸の製造販売計画書の見直しがある。椎茸発生の知識を再確認し、収穫の安定化、平均化を図る。敷地内に溜まってきている廃ホダ木の処理についても検討する必要がある。原木仕入れ数、必要資材等コストの見直しも必要である。次年度必要購入物品として、ホース、ホースジョイント、遮光シート、ホダ木、コマ菌、ドリル刃、チェーンソー刃、燃料、仮伏せ用ビニールがあげられる。

〔3〕 EM ボカシ

日々の関わりや職員間の打ち合わせを通して利用者さんの特性を理解することに努めた。「書き込みができる」、「汚れが気になる」、「粉物が好き」など興味関心のあることや個性に合わせて作業内容を考え支援した。また、情緒の波が見られるときは、安心できるように本人の好むものを用意し、落ち着ける時間を確保した。利用者さんが何を思っているのか、何を目的としているのかを考え、支援の根拠となるよう行動の記録を取り、その行動を応援できるように努めた。あわせて利用者さんの様子を家庭にも伝え、情報共有も行っている。

班全体で作業に入れるように配慮することと、次に何をするのかを知らせることにより先の見通しがつけられスムーズに作業に入れている。また、開始・終了の号令を意識することにより作業と休み時間のメリハリをつけた。作業場に予定表を設置し活用している。また、予定表ありきにならないように、利用者には口頭での説明もおこなっている。

販路拡大面では、春(4月)と秋(10月)にEMボカシキャンペーンを行い、売上向上を目指した。600g入りを5袋購入すると1袋おまけ、5kg入りは増量(600g)を内容としている。清水町の酪農家「コスモスファーム」との取引を継続し、年間通して毎月300kgの大量注文を受けている。大量のため、納品は毎月第1と第3金曜日の2回に分けて行っている。

製造面では、例年の販売量を参考に在庫量を調整し、在庫過多にならないようにしている。作業場のスペースを確保し利用者さんが作業に取り組みやすいように配慮し、さらに効率化を目指した。コスモスファームの注文を受け、冬場もEMボカシ作業に取り組んでいる。

販売面では、品質保持・向上のため、EMボカシ発効時のpHを毎回確認している。EMボカシの使用期限は3か月としているが、製品として販売店に納品する物は1か月未満のものを提供している。冬場はロウソク作業を同じスペースで行うため、異物混入避ける必要があり、作業場の区分けを明確にしている。養生室(EMボカシ発酵管理場)の温度管理(エアコン活用)とEMボカシ仕込み時、蓋にかませるナイロンを二重にすることで家畜用発酵コンテナの密閉度が向上している。

宣伝広告面では、春・秋のEMボカシキャンペーン時に新聞等で宣伝を行い、販売時などにはパンフレット配布、説明を行った。

支出面では、材料として米糠、セラミック、糖蜜、EM1、製品用袋、仕込み用の樽、家畜用ボカシを仕込むときに使用するビニール等の購入を予定している。

その他に、園内で出た生ごみはEMサポートエースにて発酵させ、畑に利用している。冬場は事前に掘った穴に投入し春先に畑に利用している。EMサポートエースの洗浄含めて生活介護B班で行っている。

〔4〕リサイクルろうそく

収入面では売上達成率未達成となる。その要因として、氷灯夜会場規模縮小により注文数が減ったことがあげられる。

白ろうそくの製造は、生活介護B班で中心に行っている。カラーろうそく製造は、生活介護A班の協力をもらい進めている。旧教員住宅1F（北東）で製品ろうそくを管理し、管理ファイルも活用している。仕上がったろうそくは段ボールに詰めて、緩衝材に新聞紙を入れている。段ボール外側には「ろうそくの種類」「ろうそくの数」を記載している。

販売は、白ろうそく1個110円（税込み）、カラーろうそく1個110円（税込み）で氷灯夜イベント会場、愛菜屋などで販売した。販路拡大のための活動には至らなかった。

ろうそく製造に使用するろうそくは、帯広市の「市民斎場」「中央斎場」を中心に無償で廃ろうそくを回収している。

他に、プレハブ西側をろうそく湯せんするための作業場として使わせてもらった。ガスを使用するため、新たにガスメーター、ガス台設置している。ボカシ作業室北側をろうそく作業場としている。ハサミ、カッター類を使用しているため、作業終わりに都度片づけを徹底している。

課題は、ろうそくの作業工程は多岐にわたるため、利用者さんの可能性ややる気を支援できる配置を考えていく必要がある。工程としては、ろうそく型外し、型組立て、芯切、芯通し、テープ留め、ろうはがし、ろうそく煤取、ろうそく折、ろうそく運び、筒・ふた掃除、芯のぼし、型の台ろうはがしなどがある。氷灯夜だけでは、例年の売り上げが確保することが難しいことから、販路拡大や新商品開発も視野に入れていく必要がある。

〔5〕印刷

利用者個々の能力に応じた作業を行えるように作業配置（ゴミ袋印刷、袋折、ミスプリント直し等）に配慮した。利用者の機械印刷技術向上のために、印刷方法の確認等を丁寧に行うようにした。職員間での連携と家庭との連絡を取りながら、落ち着いて作業に取り組めるように支援を行っている。単調な作業になりがちであるが、その中でも個々の能力にあった作業を見つけ、技術の向上を目指すことで、作業への充実感を得られるように行っている。

収入面では、ゴミ袋については役場の注文通りに対応している。

製造面は、ゴミ袋印刷作業において年間予定枚数を毎月で割った月毎の目標数値を出して、進行状況を確認しながら行っている。印刷作業に適正がある利用者の育成や指導に力を入れている。そのことにより印刷機の稼働をやむを得ず諦めるということがほぼなくなり、印刷ペースは一年を通して安定していた。種類によって前年度の在庫がかなり早い段階で枯渇し、新年度分をまわして対応する必要があった。そのため新年度分の生産が間に合わず、店舗への納品を待っていただくことがあった。在庫が減るペースを予測して欠品のない印刷計画を印刷と袋折りそれぞれについて立てる必要がある。袋折りボランティアのご協力をいただいている各団体との関係性を大切にするため、感謝の気持ちを伝えながら丁寧に対応している。

販売面では、ゴミ袋の品質管理を徹底するため、袋詰めの際は二重チェック体制を取り、見落としを防ぐようにしている。ミスプリントについては都度注意喚起をしている。またミスプリントではないが、傷でハネ品になるものも見られた。印刷だけでなく袋折りを行う利用者も対象に、袋の扱いを丁寧に行うよう話している。

支出面では、溶剤やセロハンテープなどの消耗品を使いすぎないように気を付けている。また使用量を軽減するための適切な作業の手順や方法について、確認や指導を行った。版を破かないように気を付けて作業をすることができ、製版にかかるコストを抑えることにつながった。

その他、溶剤やインクのおいを軽減するため、換気を意識して行った。冬場の静電気が作業の妨げになるため、加湿に力を入れた。利用者による事故を防ぐため、シンナー等の危険物は出しっぱなしにせず、鍵付きの物品庫にすべてしまうことにしている。

ゴミ袋の欠品を防ぐため、一人の職員がすべて担うのではなく、複数の職員で情報を共有して分担をする体制を意識している。

シルク印刷

収入面では、シルク印刷については固定客からのリピーター注文が主である。

製造面は、シルク印刷の注文はコロナウイルスの影響もあると思うが、例年通りとはいかず縮

小傾向であることは否めない。

販売面は、ロコミから新たな顧客を獲得することができ、リピーター注文をいただいている。

支出面は、インクなどの消耗品を使いすぎないように気を付けている。また使用量を軽減するため計画的な作業を心掛けた。版を破かないように気を付けて作業をすることができ、製版にかかるコストを抑えることにつながった。

その他、インクのおいを軽減するため、換気を意識して行った。冬場の静電気が作業の妨げになるため、加湿に力を入れた。

〔6〕菓子製造

今年度は新型コロナウイルスが猛威を振るい、思ったような行事や日常の生活ができない中、狭い空間での作業で、距離の取り方に苦慮した。会話の好きな利用者がほとんどであり、また会話の距離も近いことから神経質にならざる負えないことも多かった。そのような状態でも理解を示してくれ、徐々に慣れている。気持ちとしては今までのように近い距離で仲良く作業を楽しみながら行いたいと思っているようであるが、辛抱してもらっている。

利用者各々の要望や身体・精神状態を見極めながらの支援となり、個別対応が例年より多くなり、作業に関してはうまくすすまないことも多かった。本人のやる気と作業精度は比例せず、職員のフォローが欠かせなかった。

年度途中で1名が就労継続Bに異動になっている。また、1名が昨年度2月から10月まで長期休みにになっている。1名は環境変化や服薬がきちんとできていなかったことから目を離すことができない状況になっており、職員が必ず付き、危険防止策を日々行っている。また、通院同行をさせてもらい状況の把握に努めている

新型コロナウイルスのワクチンがなく、治療法も確定していない中、大事な利用者を危険にさらすわけにはいかず、また一人でもかかるとクラスターの発生につながることから注意を怠ることはできず、緊張の日々が続いた。

収入面においては、パウンドケーキを今年度も既存の種類を販売している。季節ごとの製品（リッチフルーツ・さくら）は期間限定で製造・販売している。新たな種類の製品開発には遠く及ばず、次年度に向けての課題となる。クッキーについてもパウンドケーキ同様で、既存の種類を販売している。季節に応じたスノーマンクッキーやツリークッキーの製造、メルヘンクッキーを入れたクッキーセットの販売も行っている。型抜きクッキーは客（特に子供）の目を引く形であったこともあり、売れ行きは好調であった。クリスマス時期のシュトーレンについては値段を前年同様1,800円と設定して販売をしている。数量限定販売を行い、最終的に155本製造し、6本残った。クリスマス時期を超えてしまった製品については正月用ラッピングをして割引販売を行っている。今年度も賞味期限が1週間を切ってしまったパウンドケーキについては割引販売を実施している。サンドイッチの販売では、売れ行きを見て新たなものに変更するなどして好調であった。季節限定としてかき氷の販売を行った。また、冷蔵庫が壊れたため、牛乳とラムネの販売をやめている。冷蔵庫を購入してもその分の回収が難しくなると試算したためである。

製造面では、パウンドケーキの製造において今までは一人で行っていたがほかの者でもできるようになっている。パウンドケーキの製造量については事前に必要な数を割り出し、それに基づいて製造を行っている。クッキー製造に関しては、パン作業の減から成形の練習をし、数人の技術が向上し多く作ることができるようになった。コロナウィルスの影響からボランティアさんに頼むことができなくなり、型抜きクッキーは職員の作業となり満度に作るができなかった。新たにバタークッキーやアーモンドクッキーなどの価格が高いものも製造している。売れ残ることなく販売している。

販売面では、販売店先によってパウンドケーキはほぼ売れていない状況のため、目新しさを出すために新たなクッキーやパウンドケーキを置き、購買につなげた。新嵐山荘に置いている「りすとどんぐりクッキー」は好調で、特に集客がある時期には先方より補充の連絡をいただくことが多かった。愛菜屋のオープン時期にはパウンドケーキ、クッキーを販売しているが例年より少なく感じている。コロナウィルスにより先が見えない状況下では嗜好品の売上が上がらなかったことが原因と考える。今年度もふるさと納税関係の注文、星野リゾートからのクッキー注文があり、時期によっては大量の注文が入ったが、コロナウィルスの影響で、来客自体が減っているようで注文数も減少した。また、例年行っているイベント行事、即売会のほとんどが中止となり、売り上げ増にはな

らなかった。「とちまち産直市場」がパンの販売先として加わっているが、クッキー・パウンドケーキに関しても販売にこぎつけられるように、次年度以降積極的にアプローチをしていきたい。在庫管理については利用者が行っているが、必ず職員も立ち会った上でミスのないように努めている。完成品については品質管理のため、最終的に職員が製品を確認している。

宣伝広告面では、新型コロナウイルス感染予防のため、リスどん店舗にて製品の試食を出すことはできなかったが、店舗のレイアウトを変更し購買意欲を増す努力をしている。宣伝の際に何が売りなのかがお客様に伝わらない部分もあるため、それを明確にし、全職員に周知し、即売会等でのPRにつなげていくことが今後の課題である。Facebook とインスタグラムを利用した宣伝活動も行っている。Facebook の閲覧者が比較的多いため、今後も継続して Facebook の活用をしていきたい。

支出面では、製造に使用する原材料が高騰している事もあり、コストがかかる傾向にある。そのため、不必要な物は製造せず、材料費をカットできるような取り組みを行っている。仕入れに関しては、原材料が値上がりする前に業者からの情報を基に、考えられる範囲の中でまとめ買いを行うことで、値上がり分のコストカットを行っている。その他（作業環境、整理整頓）異物混入がないように確認作業を念入りに行い、事故防止に努めている。感染予防対策としてこまめな手洗い・消毒を義務付けている。長期休み前には工房内の大掃除を必ず実施している。

〔7〕パン製造

利用者支援—菓子製造参照

収入面の向上を目指して3か月に1度は新製品を出すように商品開発を実施している。コロナ禍の影響から販売に行く機会が減ったことから店舗販売に力を入れ、商品開発を進め、新製品を販売している。材料に関しては、随時価格の見直しを検討している。十勝産の小麦を使用することで、若干ながら仕入れ価格を抑えられている。新製品を販売する時には原価計算を基にしながら、適正な価格となるように設定している。外販が行えない厳しい状況の中、町内から感染対策をしながら販売することを検討し、芽室町役場とJAめむろにご理解をいただき、販売する再開する際回数これまでより増やし収入につなげた。

製造面では、日々の作業を進めていく中で生産効率が少しでも上がるように、効率的な作業の進め方を随時話し合っている。日々の生産効率が少しでも上がるように、成形後に冷凍をしておけるパン生地については冷凍をすることで効率を上げるようにしている。しかしながら、作業が忙しい時に冷凍するパン生地を作ることは逆に手間になる場面もあり反省点が見られた。その時々を外販で売れる数を予想した上でパンの製造量を出している。店舗では売れ残りがある日が少なくなっている。原材料については前もって在庫状況を確認しておくことによって、必要に応じて発注をかけている。

販売面では、今年度より役場本庁舎に加え、芽室町保健福祉課（あいあい21・1階）にてパンを昼に販売している。店舗におけるパンの売れ残りが出るため内容製造数を調節している。また、コロナ禍で記念イベントや季節に応じたイベントをすべて行うことができず、店舗の集客力を上げる方法を作業班内、目標工賃達成委員会と考えていく必要がある。店舗で売れ残るパンを記録しているが、日により違うためこまめに調整している。品質を管理するために、パン製造時には必ず検食のためのパンを用意して、販売前に検食のパンを試食して味を確認している。主に十勝産の小麦や地元産の野菜を極力使用する等、材料にこだわってパンを製造することで安心・安全で高品質のパンが製造できるように努力をしている。

宣伝広告面ではイベントなどがほとんどなくなり、フェースブックやインスタグラムの活用をした。職員によるPOP製作やディスプレイ製作等を通じて、店舗内の雰囲気季節ごとに変化を持たせられるようにした。

支出面では、原材料がほとんどものが前年度より値上がりしている物が多く、値上がり前に適正な範囲内でまとめ買いをすることで、コストの低減に努めている。また小麦粉は地元の業者から十勝産小麦を仕入れることにより、若干コストが下がっているが、コロナウィルスの流行により消耗品の価格が大幅に上がり、難しくなっている。業者によっては、基本的にケースで注文をしなければならない物もあり、結果的に材料を賞味期限内に使い切ることも難しく、ロスを生み出してしまいう結果となる物もある。また、注文の際には送料の関係からまとめて注文をしなければ送料が無料に

ならない業者もあり、在庫があるものの材料の抱き合わせのために無駄に注文をしなければならぬ物も存在する悪い流れがある。改めて、業者との交渉や別の業者の発掘が必要となってくる。焼成時にパンの焼きすぎによるロスが疲れると多く出るようになっている。

他には異物混入につながるようなことについてはできるだけ排除をして、異物混入につながらない作業環境を目指して作業を行った。感染予防として、手洗い、消毒を徹底している。作業環境を整えるため、職員で意見を出し合い、改善している。大掃除に関しては、長期休み前に必ず実施している。作業が忙しくなってくると手が回らなくなってくる部分ではあるが、作業環境を整える必要があるため、今後は定期的に整理整頓等をしていきたい。都度必要のない物は処分するなどの意識も強めていきたい。